

会議結果のお知らせ

令和5年度第1回宮古市災害伝承協議会を、次のとおり開催しました。

令和6年1月16日

宮古市災害伝承協議会

1 開催日時

令和5年12月18日（月）午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所

宮古市 市民交流センター1階 会議室1・2

3 会議の概要

- （1）宮古市災害資料アーカイブシステム構築事業について
- （2）宮古市災害資料伝承館に係る検討状況について
- （3）災害資料の活用方法等について

4 問い合わせ先

田老地域づくり協議会事務局 宮古市田老総合事務所地域振興係
電話 0193-87-2971（直通）（内線 6213）

令和5年度第1回宮古市災害伝承協議会議事録

- 1 開催日時 令和5年12月18日(月)午後1時30分から午後3時30分
- 2 開催場所 宮古市市民交流センター1階 会議室1・2
- 3 出席者 (12名)
齋藤 徳美 会長、柳澤 忠昭 副会長、小岩 孝行 委員、
佐々木 重勝 委員、戸由 忍 委員、敬礼 明男 委員、
坂本 百洪 委員、假屋 雄一郎 委員、山内 霜子 委員、
太田屋 滋 委員、武藤 元 委員、澤田 亮 委員(代理 赤沼 喜典)
- 4 欠席者 (2名)
藤田 千夏子 委員、伊茂野 達哉 委員
- 5 事務局 (9名)
多田 康 企画部長、箱石 剛 企画課長、川原 栄司 生活課長、
山崎 正幸 危機管理課長、北館 克彦 文化課長
(田老総合事務所)
齋藤 清志 所長、山崎 俊幸 地域振興係長、
上坂 春樹 主任、山本 美絵 主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事等
13:30 山崎地域振興係長が開会を宣言
13:31 議長挨拶(齋藤 徳美 会長)
13:33 報告・協議
15:20 山崎地域振興係長が閉会を宣言
- 8 結果 令和4年度に実施した宮古市災害資料アーカイブシステム構築事業と宮古市災害資料伝承館に関わる検討状況について、事務局から報告。
災害資料の活用方法等について、協議を行い、次回開催する協議会の前に、令和7年7月に開館予定の伝承館と同規模となる釜石市鶉住居にあるいのちをつなぐ未来館の視察の実施について、委員から意見が出され、近日中に実施で調整することで、事務局企画部長より回答。

別紙 質疑応答

質問・意見	回答
<p>報告</p> <p>(1) 宮古市災害資料アーカイブシステム構築事業について</p> <p>(委員)</p> <p>資料収集はこれで終わりでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <p>新しい情報を追加するということが今後あると思います。サーバーが現在は東北大学にあり、新しい施設の中にサーバーを置くとういうことでしょうか。</p>	<p>(事務局)</p> <p>昨年は大きな災害は起きていませんが、大規模な災害が発生した場合において、新たな災害の記録を収集していく。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在は、東北大学のサーバーに保存されている。</p> <p>田老総合事務所内で、デジタル化したデータをサーバーに保存する環境を作っているので、我々で新たに追加していくことができます。</p> <p>新しい施設ではなく、引き続き東北大学のサーバーの保存し管理し、新しい施設で追加作業ができる環境を整えていきたい。</p>
<p>協議</p> <p>(1) 災害資料の活用方法等について</p> <p>(委員)</p> <p>災害は起きてほしくはないが、新たな災害が発生した場合、資料をデジタル化し、スペースを活用して展示し、地域への啓発を行い、交流人口の増加にもつなげる役割をもつ施設となってほしい。</p> <p>(委員)</p> <p>災害伝承館の一番のねらいは、災害経験者の想いを伝承することがすごく大事であると思います。</p> <p>壊れたもの展示し、それを見て感じるではなく、災害を体験して、こうしたほうがよいうことを伝えるのは難しいが、それを伝えられる形ができれば良いと思う。</p>	

質問・意見	回答
<p>(会長)</p> <p>どのような形で示したらより伝わるか、そういったところの工夫は非常に大事だと思います。</p> <p>いろいろ議論いただいて、具体的な中身をつくる必要があると思う。</p> <p>思いをつなぐというのは、委員の言う通り難しい取組みになろうかと思いますが、委員の皆様からもいろいろご意見といただいて、こんなやり方をしたらいいのではないかというご意見をいただきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>伝え方、やり方は、被災したエリアに住んでいる人とそうでないエリアに住んでいる人とは、その思いは違って来るんだろうなというところもある。</p> <p>意見を交わしながら、詰めていければと思います。</p> <p>津波だけに関するのですが、外洋に面した地域と、港に面した地形では津波の様子が違う。津波模型が宮古工業高校の生徒が作ったものがあるが、展示予定はあるのでしょうか</p> <p>(委員)</p> <p>展示について、津波のほかに風水害もあるがそれらを展示するとスペースが足りないので、津波に絞ってもよいと思う。</p> <p>展示も大事ですが、伝承するとか経験を伝えることを考えると、パンフレットやリーフレットを持ち帰って、家で学んで確認できるそういったものがあればいいのかなと思いました。</p>	<p>(委員)</p> <p>東北大学の先生が、津波の伝わり方をパソコンを使って表したものがある。</p> <p>(事務局)</p> <p>津波の模型ですが、先生と生徒が作成し活動してきたものです。</p> <p>3年ほど前に、担当していた先生が退職になり、模型は、津軽石や鍬ヶ崎地区に譲渡している。</p> <p>先生と話す機会があり、制作に関しては、やぶさかではないが、1人では経費と時間がかかるとのお話でした。</p> <p>(事務局)</p> <p>田老地区の模型を管理していますが、海底の地形が反映されていない。活用についてはこれから考えていきたい。</p>

質問・意見	回答
<p>(委員)</p> <p>自らの命を守ることをどういうふうに伝えるか。未経験者はわからないので、伝えていかなければならない。</p> <p>(委員)</p> <p>展示は、年表が入ったものがあればよいと思う。様々な災害の展示があると見る方がたいへんなので、しぼった展示でよいのでは。</p> <p>地震で停電になったが、電気が復旧したことによる分電盤火災も発生する。パンフレット等で紹介してもいいのかなと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>地震津波をメインにした展示で、他の災害は入れ替えて展示をしてみてもいいのでは。</p> <p>宮古市では避難訓練を毎年行っているが、施設を通じて、気軽に参加でき、市民から頼られる、ここに行けば、いろいろ学べる施設になってもらえればと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>交流促進、滞在時間の長期交流人口の拡大、情報発信するには、重要な施設。観光協会の中には、学ぶ防災があるので、将来、コースに施設を組み込んでいくことを考えていきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>学ぶ防災で伝承活動があり、防潮堤というハード施設があり、震災遺構の観光ホテルがあり、田老地区はまち全体が防災のまちである。うまく連携した形でもっていけば、交流人口増加などにつながればよいのかなと思う。</p> <p>田老といえば津波だと思いますが、新たな施設を見学したときに、台風の展示を大規模にやっても目的と違うかなと。メインは津波の展示とし、ある月は台風について特集するなど展示を充実していくことが大事なのかなと思います。</p>	

質問・意見	回答
<p>(委員)</p> <p>情報発信に関するのですが、命を守る行動、防災意識をどのように啓発していくが。災害伝承資料館ができあがるまで1年7か月かかる。資料収集について、広報などで周知を継続してはどうか</p> <p>(委員)</p> <p>私は昭和8年の津波のときは3歳か4歳でした。高齢者の方から情報収集、資料を集めていてはどうか。</p> <p>(委員)</p> <p>資料収集や整理の仕事をしているのですが、資料ってそんなにすぐ集まらない。編さん室では前任者のときも合わせて30年以上経ちその中で資料が集まってきているところ。最近、空き家の片づけなどがある。いくら呼びかけても、片づける人の都合良いときにしか資料は出てこない。</p> <p>体制について、長く入れる人がいたほうが良い。私自身、専門的なことはやっていないが、宮古にきてから覚えて今に至っているところがある。</p> <p>展示のターゲットは、小学校高学年以上で、教育旅行もターゲットにすることで、後世に伝えていくことになると思う。防潮堤の見学の前後に展示室や多目的室を活用するなど、組み立てて想定してみたほうが良いと思う。</p>	
<p>(委員)</p> <p>田老地区は、災害の歴史がある。これまで大津波の被害が発生により、防潮堤建設して防災対策し、震災遺構の観光ホテルもあり、特徴的なまちである。情報発信すれば、集客できると思う。</p> <p>私の提案ですが、先進地を視察し、そこで足りないところを知る、後発だからメリットもあると思う。委員の中で鶴住居の施設を見ていない方もいると思う。単なる一般的な入場者としてではな</p>	<p>(事務局)</p> <p>希望者だけでもそういうツアーを1回していただくのも大事ではないかと思う。</p> <p>見学した中身をふまえて、具体的な展示内容を事務局から提案し、それについて委員のみなさんからご意見をいただきたい。</p> <p>視察について、一旦預かり、事務局で調整し後ほど連絡します。</p>

質問・意見	回答
<p>く、どう展示に活用したらよいかという視点で見学するというのを、事務局で機会を作ってもら必要があるのかと思う。</p>	<p>(事務局)</p> <p>皆様のほうで、何か災害資料等の情報があれば事務局までご連絡いただきたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>先生が出版した本と防災士の記事が新聞に掲載されたので紹介する。</p>